

『マイナビ 2020年ミドルシニア／シニア層の非正規雇用就労者実態調査』を発表**キャリアとして就労を希望する年齢は「70歳を超えても働きたい」と回答する人が23.4%**

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中川信行）は、現在、非正規雇用で就労している40代～70代男女を対象にした『マイナビ 2020年ミドルシニア／シニア層の非正規雇用就労者実態調査』を発表しました。なお、本調査は2019年から実施し、今回で2回目となります。調査結果の概要（一部抜粋）は以下の通りです。

《TOPICS》

- ▼ 年代別就労目的では、40代は「貯金」等“将来の備え”のため、60代以降は「健康維持」や「人との交流・出会い」「充実感ややりがい」等、お金以外の項目が高い傾向に【図1、2】
- ▼ 職場にとらわれず、キャリアとして就労したい年齢は「70歳を超えても働きたい」と考える人が23.4%【図3】
- ▼ コロナ禍の中で変化した働き方として、「自発的にシフトを減らすようになった」が高い傾向に【図4、5】
- ▼ 働き方の変化に伴う意識の変容として、派遣社員では「副業への興味」「学ぶことへの意識」の高まりがみられた【図6】

調査概要

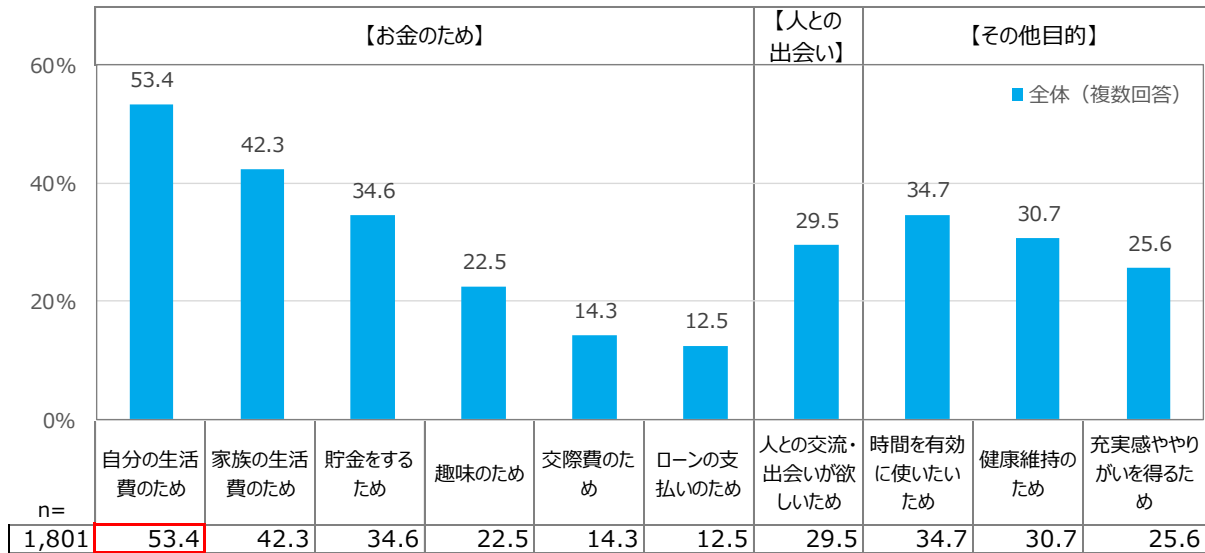
ミドルシニア／シニア層（40代～70代）で契約社員、派遣社員、パート・アルバイトとして働く人に就労目的を聞いたところ、全体では「自分の生活費のため」が最も高く53.4%という結果に。年代別に特徴をみると、40代では「貯金（46.0%）」等“将来の備え”のため、60代以降では「健康維持（60代42.0%、70代61.8%）」や「人との交流・出会い（60代31.0%、70代37.4%）」「充実感ややりがい（70代32.1%）」等、お金以外の項目が高くなる傾向が見られた。【図1、2】

6月に高年齢者雇用安定法が改正され（施行は21年4月）、70歳まで就業機会を確保することが企業の努力義務となることが決まった。現在の職場で継続して働きたい年齢を聞いたところ、「70歳まで働きたい」と答えた人は18.9%、「70歳を超えても働きたい」（「～75歳まで働きたい」+「～80歳まで働きたい」+「80歳を超えても働きたい」の合計）と答えた人は17.8%であった。また、キャリアとして就労を希望する年齢を聞いたところ、「70歳まで働きたい」と答えた人は25.1%、「70歳を超えても働きたい」と答えた人は23.4%と、さらに上回った傾向が見られ、現在の職場にとらわれない形でこの先も働き続けたいミドルシニア／シニア層の要望をうかがうことができた。【図3】

コロナ禍前後で自身の働き方に変化があったかを聞いたところ、38.4%が「変化があった」と答えた。変化があった人に対して具体的な内容を聞いたところ、パート・アルバイトとして働く人では「自発的にシフトを減らすようになった（35.4%）」が最も高い割合に。出勤日の調整が比較的しやすいパート・アルバイトにおいて、感染を懸念して自発的にシフトを減らしたミドルシニア・シニア層が3分の1以上いたと考えられる。【図4、5】

また、働き方の変化に伴い、意識面でも変化があったか具体的な内容を聞いたところ、「人とのコミュニケーションが減った（31.3%）」と感じる人が多いことがわかった。特に、派遣社員として働く人では、「副業への興味（22.0%）」「学ぶことへの意識（15.2%）」の高まりも見られた。コロナ禍で変化した働き方が自身の仕事の在り方を見つめ直すきっかけとなり、副業や学び直しへの興味等、新たな意識の高まりに繋がった様子が見られた。【図6】

【図1】就労目的【複数回答】（上位抜粋）

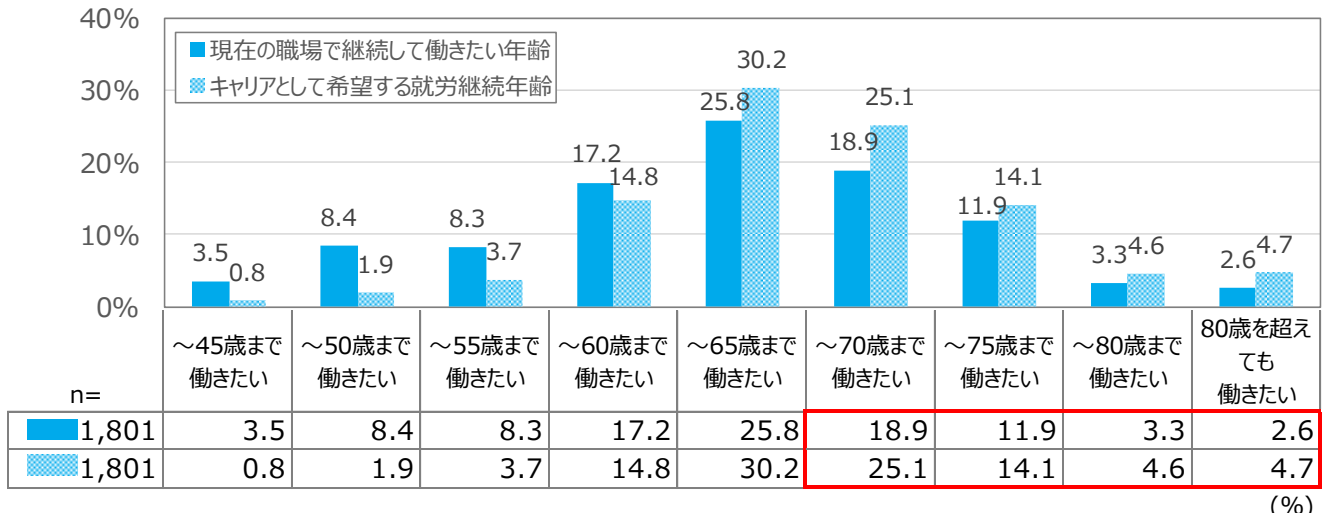


【図2】就労目的・年代別上位5項目【複数回答】（上位抜粋）

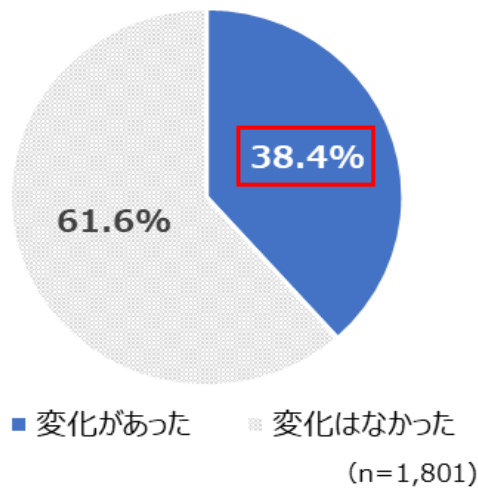
40代 (n=612)		50代 (n=498)	
1. 自分の生活費のため	58.3%	1. 自分の生活費のため	57.3%
2. 貯金をするため	46.0%	2. 家族の生活費のため	46.3%
3. 家族の生活費のため	45.8%	3. 貯金をするため	35.5%
4. 時間を有効に使いたいため	30.9%	4. 時間を有効に使いたいため	34.4%
5. 人との交流・出会いが欲しいため	27.7%	5. 充実感ややりがいを得るため	28.8%

60代 (n=545)		70代 (n=146)	
1. 自分の生活費のため	47.6%	1. 健康維持のため	61.8%
2. 健康維持のため	42.0%	2. 自分の生活費のため	40.9%
3. 家族の生活費のため	39.4%	3. 時間を有効に使いたいため	38.8%
4. 時間を有効に使いたいため	38.2%	4. 人との交流・出会いが欲しいため	37.4%
5. 人との交流・出会いが欲しいため	31.0%	5. 充実感ややりがいを得るため	32.1%

【図3】 就労継続年齢：現在の職場で継続して働きたい年齢/自身のキャリアで就労を希望する年齢【単一回答】



【図4】 コロナ禍における働き方の変化



【図5】 コロナ禍における働き方の変化【複数回答】

	全体 (n=692)	契約社員 (n=122)	派遣社員 (n=77)	パートアルバイト (n=493)
残業時間が減った	33.8%	43.4%	41.5%	30.3%
自発的にシフトを減らすようになった	29.6%	11.8%	21.0%	35.4%
リモートワークするようになった	12.8%	29.6%	16.8%	8.0%
接触の少ない業務を選ぶようになった	8.6%	8.6%	8.4%	8.7%
スキルアップのための勉強時間が増えた	6.1%	10.0%	3.4%	5.6%
オンラインでの業務が増えた	3.9%	14.0%	-	2.0%
生産性が高まった	2.8%	4.1%	5.5%	2.0%
社内のオンライン研修を受講するようになった	2.6%	2.3%	4.3%	2.4%
その他	21.3%	13.2%	25.0%	22.7%

【図 6】 コロナ禍における働き方の変化【複数回答】

	全体 (n=692)	契約社員 (n=122)	派遣社員 (n=77)	パートアルバイト (n=493)
人とのコミュニケーションが減ったと感じる	31.3%	41.4%	30.7%	28.9%
家族との時間を大切にするようになった	22.6%	18.4%	25.6%	23.2%
運動量を増やすよう心掛けるようになった	19.7%	22.9%	27.3%	17.7%
副業への興味が高まった	13.9%	7.4%	22.0%	14.3%
睡眠への意識が高まった	13.2%	19.4%	20.5%	10.6%
出勤するのが楽しみになった	11.5%	10.7%	8.3%	12.2%
業務効率を意識するようになった	9.6%	17.6%	8.8%	7.7%
仕事にやりがいを感じるようになった	6.9%	5.4%	4.5%	7.7%
学ぶことの意識が高まった	6.7%	6.3%	15.2%	5.5%
専門的な職種への関心が高まった	5.1%	5.4%	2.7%	5.4%
その他	3.1%	3.1%	4.0%	3.0%
意識の変化はなかった	24.5%	23.9%	26.7%	24.3%

【調査概要】『マイナビ 2020年ミドルシニア／シニア層の非正規雇用就労者実態調査』

調査期間：2020年6月12日（金）～2020年6月15日（月）

調査方法：インターネット調査

 調査対象：現在、非正規雇用（「会社員（契約社員）」「派遣社員」「パート・アルバイト」）で
 就労している40代～70代男女 ※調査時点

有効回答数：1,801名（40代：449名、50代：454名、60代：457名、70代：441名）

 ※調査結果の詳細は会社 HP のニュースリリース (<https://www.mynavi.jp/news/>) からご確認ください

【本件に関するお問い合わせ先】

 株式会社マイナビ
 社長室 HR リサーチ部
 Tel：03-6267-4571 Fax：03-6267-4145
 Email：myrm@mynavi.jp
【当社に関するお問い合わせ先】

 株式会社マイナビ
 社長室 広報部
 Tel：03-6267-4155 Fax：03-6267-4050
 Email：koho@mynavi.jp